

第2回APEC観光大臣会合・マンサニーヨ宣言（骨子）

- 1．第2回APEC観光大臣会合が、メキシコ・コリマ州・マンサニーヨで開催され、フォックス・メキシコ大統領が開会を宣言した。
- 2．観光大臣は、以下の声明を発した。
 - ・各国が旅行者の安全確保のためにとった措置を支持するとともに、旅行の円滑化が観光産業の持続的発展に不可欠であることに配慮しつつ、旅行者の安全を高める努力を継続する。
 - ・雇用の創出、外貨の獲得、平和と文化の促進、地域振興など、観光のAPEC地域の経済、社会、文化の発展への貢献を認識する。
 - ・観光業や観光地の発展、観光客の安全を確保するための努力を続ける。
 - ・ソウル宣言で定められた政策目標を強化するとともに、特に、訪問者の移動性の改善、観光分野への理解の向上、持続的発展可能な観光の育成を重視する。
- 3．ソウルでの観光大臣会合で合意された以下の3つの優先行動計画が完了した。
 - ・持続的発展可能な観光
 - ・観光情報ネットワークの構築
 - ・TSA（国民経済計算「観光部分勘定」）の開発支援
- 4．ソウル宣言に定められた政策目標を実施するため以下のプロジェクトが進捗した。
 - ・観光の障害研究
 - ・中小企業に対する電子商取引の適用
 - ・身体的障害のある旅行者の円滑な旅行に関する成功事例
 - ・観光産業における持続的発展のための訓練
 - ・持続的観光のための官民協力
 - ・観光に関する職業技能の標準
- 5．観光大臣会合は、観光産業は民間企業、特に中小企業が牽引していることを認識し、民間セクターとの対話・協力の拡大を確認した。
- 6．観光大臣会合は、以下の新しい優先行動計画を採択し、今後ワーキンググループで検討することに合意した。
 - ・中小企業能力向上
 - ・旅行者の安全確保
 - ・観光分野における投資の奨励
 - ・旅行者の満足度を測定する指標の開発
- 7．第3回観光大臣会合は、2004年チリにて開催される。